

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 月 日

1 事業名	自転車駐車場管理事業			コード	142105	
2 担当部課	部等	経済部	課等	商業観光課	作成者	佐藤 嘉泰
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち			
		政策	交通網の整備	施策	公共交通網の整備	
		予算科目	自転車駐車場管理費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市岡谷駅前自転車駐車場条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	岡谷駅前自転車駐車場		
目的	対象者	駐輪場利用者	
	意図	利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切な管理を行う。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス(株)	25年度指定管理料	9,456,000 円
施設における 通常業務	自転車駐車場の使用申請受付、利用者カード発行、場内及び周辺の放置自転車の撤去保管、場内の清掃等環境保持業務を実施した。収容台数1,200台		
事業の実施内容	<p>(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <p>岡谷駅前自転車駐車場の運営管理を指定管理者シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社が行った。</p> <p>【主な内容】 駐輪場の管理、雨具貸し出し、エアポンプ設置など利用者の利便性向上事業 周辺環境整備事業</p>		
前年度の課題 への対応	特になし		

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	366	365	365	365
1日の開設時間（時間）	18	18	18	18
年間利用可能時間（時間）	6,588	6,570	6,570	6,570
年間利用実績（時間）	6,588	6,570	6,570	
② 年間利用者数（人）	24,188	21,590	21,819	21,000
有料利用者数	24,188	21,590	21,819	21,000
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	66.1	59.2	59.8	57.5
⑤ 施設利用状況の説明	駐輪場を利用した件数（一時使用、定期使用）			

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	10,898,782	10,985,480	10,226,214	10,615,000
経常経費	10,898,782	10,985,480	10,226,214	10,615,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	1,600,000	1,600,000	1,600,000	1,600,000
正規職員の人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20
③ 合計コスト(①+②)	12,498,782	12,585,480	11,826,214	12,215,000
前年度比		100.7%	94.0%	103.3%
財源				
一般財源	1,586,932	3,309,580	-208,936	2,341,000
内訳				
特定財源	10,911,850	9,275,900	12,035,150	9,874,000
* 特定財源の説明	駅前自転車駐車場使用料			
④ 施設使用料年間収入額	10,911,850	9,275,900	12,035,150	9,874,000
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	100.1%	84.4%	117.7%	93.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	517	583	542	
前年度比		112.8%	93.0%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比	101.1%
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額	前年度比	129.7%

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	特になし	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	特になし	
	改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
	予定事業費	円	予定時期
内容	なし		